
◆ 目次 ◆

- 1 内川昭彦在モンテリオール日本国総領事挨拶
- 2 3 月及び 4 月の休館日
- 3 令和 6 年能登半島地震の義援金受付のお知らせ
- 4 総領事公邸職員公募
- 5 領事窓口時間等について
- 6 領事だより
 - (1) 戸籍・国籍関係の届出に関するお知らせ
 - (2) 令和 6（2024）年 4 月衆議院議員補欠選挙に伴う在外選挙の実施について（予定）
 - (3) 領事出張サービス開催予定のお知らせ（2024 年 5 月：NB 州モンクトン）
 - (4) モンテリオール日本語補習校からのお知らせ
 - (5) 証明のオンライン申請導入（2023 年 11 月 28 日から）
- 7 広報・文化だより
- 8 当館管轄 5 州の政治
- 9 当館管轄 5 州の経済

* * * * *

- 1 内川昭彦在モンテリオール日本国総領事挨拶
領事メールでは写真が掲載できないため、ご挨拶は下記の URL に掲載いたしました。
https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/CG/cg_202403.pdf

- 2 3 月及び 4 月の休館日
 - 3 月 29 日（金） Good Friday
 - 4 月 1 日（月） Easter Monday
 - 毎週土日

- 3 令和 6 年能登半島地震の義援金受付のお知らせ
当館領事メールで既にお知らせしましたとおり、1 月 31 日から、能登半島地震で被災された方々向けの義援金受付を開始しております。詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。
https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/donation_jp.html

4 総領事公邸職員公募

当館総領事公邸で勤務する職員を公募しています。ご興味のある方は下記 URL をクリックして詳細をご覧ください。

【英語版】<https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/files/100625427.pdf>

【フランス語版】<https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/files/100625428.pdf>

5 領事窓口時間等について

(1) 当館の開館時間

以下の URL をクリックするとご確認いただけます。手続きの内容によって時間が異なりますので、ご注意ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/office.html#section3

(2) 一部の取り扱いにおける予約制

(i) 対象となる取り扱い

- ・ 在留証明の申請
- ・ 署名証明の申請
- ・ 警察証明の申請
- ・ 戸籍国籍関係の届出

(ii) 予約方法

当館領事班に、Eメールまたは電話でご連絡をお願いします。

【Eメールアドレス】consul@mt.mofa.go.jp

【電話番号】514-866-3429

6 領事だより

(1) 戸籍・国籍関係の届出に関するお知らせ

改正戸籍法及び改正戸籍法施行規則が2024年3月1日に施行されたこと、及び、改正民法が2024年4月1日に施行されることに伴い、戸籍・国籍関係の届出を当館に行われる際の取り扱いがそれぞれ一部変更されます。

具体的には、戸籍情報連携の開始に伴い、届書に添付していただいた戸籍謄本の提出が原則不要になります。また、嫡出推定制度及び女性の待婚期間に関する取り扱いが見直されます。

詳しくは下記 URL をクリックして当館ウェブサイトをご覧ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/minpo_kaisei.html

(2) 令和 6 (2024) 年 4 月衆議院議員補欠選挙に伴う在外選挙の実施について (予定)

令和 6 (2024) 年 4 月、衆議院議員補欠選挙に伴う在外選挙が実施される予定です。詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。なお、当館における在外公館投票は実施いたしません。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/elections_202404.html

(3) 領事出張サービス開催予定のお知らせ (2024 年 5 月 : NB 州モンクトン)
2024 年 5 月 10 日 (金)、NB 州モンクトンで領事出張サービスを開催する予定です。詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday_NB_20240510.html

(4) モントリオール日本語補習校からのお知らせ

●正教員・代講教員募集のお知らせ

現在、モンリオール日本語補習校では、正教員および代講教員を募集しております。

モンリオール日本語補習校は、モンリオール近郊在住の小中学生を対象に主要教科(国語・算数(数学)など)の補習教育を毎週土曜日に日本語で実施しています。

本校は、将来日本において教育を受けることを希望する小・中学生が、日本の学校教育に円滑に適応できるよう、日本の学習指導要領に沿った授業を日本語で提供することを目的としています。

以下の条件に合う、熱意のある方のご応募をお待ちしております。

a. 正教員・・・日本での教員の経験、またはそれと同等の能力および経験のある方

【勤務時間】毎週土曜日 6 限授業 (年間 40 日)

b. 代講教員・・・小学校・中学校の全学年。

特定の科目だけでも可能です。担当教員が休みの時に代講をお願いします

詳細は、補習校ホームページをご参照ください。

<https://www.hoshuko.ca/home>

(5) 証明のオンライン申請導入 (2023 年 11 月 28 日から)

2023 年 11 月 28 日から、当館が発行する証明の一部についてオンライン申請ができるようになりました。オンライン申請いただいた場合は、手数料をクレジットカードまたはデビットカードでお支払いいただくことができるようになります。従来通りカナダドル現金によるお支払いも引き続き可能です。

なお、お受け取りはこれまで同様、申請された方ご本人に当館窓口へお越しいただき、本人確認等を行ってからお渡しします。

概要は下記 URL をクリックして、当館ウェブサイトからご覧ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/shoumei_online.html

7 広報・文化だより

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様が実施される日本関連行事についての情報を（ culture@mt.mofa.go.jp ）までお知らせください。事業の内容によっては、掲載できない場合がありますので、ご了承ください。

（1）当館は、以下の SNS 公式アカウントを開設しています。日本や当館の活動に関する情報を随時発信しています。

●フェイスブック

<https://www.facebook.com/JapanConsMontreal>

●X

<https://twitter.com/JaponMontreal>

●YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC5Fc52skP5w8otfowcN30ag>

（2）日本関連行事等のお知らせ

* 以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問い合わせください。

* 外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様へのご参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんのでご了承ください。

●モントリオール日系文化会館のイベント

場所：モントリオール日系文化会館

8155 rue Rousselot, Montreal

（ア）シニア・ドロップイン・カフェ（日系・邦人シニア対象）

イートイン&テイクアウト用に作りたての和菓子とご飯もの 1 品が用意されています。

日時：3 月 28 日（木）12 時～14 時

* 和菓子作りのボランティア募集中（3 月 28 日（木）9 時 30 分～12 時）

ボランティア問合わせ先：

（モントリオール日系文化会館）514-728-1996 または jcccm_yh@bellnet.ca

（イ）モントリオール日系コミュニティーコーラス「歌おう会」

季節の唱歌・童謡・地方民謡など、日本の歌を日本語で歌う会です。（ピアノ伴奏：登かなえ氏）どなたでも参加できます。

日時：3 月 28 日（木）12 時 30 分（約 45 分）

参加費：モンリオール日系文化会館会員 5 ドル、一般 8 ドル（小学生以下無料）

参加申込み・問合わせ先：

（モンリオール日系文化会館）514-728-1996 または jcccm_yh@bellnet.ca

（ウ）シニア木曜ドロップイン（日系・邦人シニア対象）

午後は現地弁護士による委任状についての説明（英語）があります。参加ご希望の方は、4 月 8 日までにお申し込みください。

日時：4 月 11 日（木）10 時 30 分～14 時

ランチ代：10 ドル

参加申込み・問合わせ先：

（モンリオール日系文化会館）514-728-1996 または jcccm_yh@bellnet.ca

●いけばなインターナショナル 3 月例会

Diane Eggleton 氏による草月流ワークショップが行われます。

日時：3 月 29 日（金）13 時

場所：Monkland Community Center

4410 Av. West Hill, Montreal

参加費：20 ドル

連絡先：田中和子氏（kazuko.dorangeville@gmail.com）

●Okinawa Night Montreal

沖縄の食べ物、コンサートが楽しめます。

日時：3 月 30 日（土）

第 1 部 12 時～15 時、第 2 部 14 時半～17 時半、第 3 部 17 時～20 時

場所：KIN Experience

397A Rue Sainte-Catherine O. Montreal

<https://www.facebook.com/events/1107177760498832>

●モンリオール子どもクラブ

モンリオール子どもクラブは、日系親子の集うプレイグループです。参加をご希望の方は以下のメールアドレスにご連絡ください。

開催日時：4 月毎週金曜日 11 時～15 時

（4 月 12 日は、キッズダンス・ベビーダンスの無料体験レッスンも予定しています。）

場所：モンリオール日系文化会館

参加費：1 ドル

連絡先：info.mtlkodomoclub@gmail.com

FB アカウント：<https://www.facebook.com/profile.php?id=100090537858737>

IG アカウント：https://www.instagram.com/kodomoclub_montreal/

●舞台「OKUNI」

出雲阿国を題材にした舞台「OKUNI」が上演されます。

総合監督：Sylvi Belleau、出演：安原嘉代、Elisabeth Caty、音楽：草野幸吉、アニメーション：青木義乃、後見：浅野ゆきえ、衣装：宇井佳代子、紙芝居：Line Michaud

日時：4月6日（土）19時30分

場所：Maison culturelle et communautaire de Montreal-Nord

12004, boulevard Rolland, Montreal

入場無料（予約手数料2\$）

<https://montreal.ca/evenements/okuni-creatrice-du-kabuki-komachi-montreal-59179>

●東海道「Tokaido Dreamscapes by Ando Hiroshige」

安藤（歌川）広重による東海道五十三次の浮世絵版画展です。

期間：4月27日（土）～9月8日（日）

場所：モントリオール美術館

1380 Sherbrooke Street West, Montreal

<https://www.mbam.qc.ca/en/exhibitions/tokaido/>

●五老海幸（いさみゆき）コンサート

日本がテーマで作られたアルバム、リーヴの曲目が演奏されます。

篠笛、フルート：五老海幸、ピアノ：平塚夏生、打楽器：Patrick Graham

日時：5月17日（金）19時30分

場所：Jeunesses Musicales Canada

305 Avenue du Mont-Royal E, Montreal

参加費：38.61ドル

<https://www.yukiisami.com/rives---album.html>

●ランゲージ・ティータイム

NUMA Instituteでは、語学学習者同士の交流を深める場を提供しています。

日時：毎週月曜（フランス語）、火曜（英語）15時30分～17時30分

毎週土曜（日本語）16時～18時

場所：NUMA Institute

Centre St. Jax, 1439 Sainte-Catherine O., Montreal

参加費：スナックかお茶または寄付（5ドル）

NUMA InstituteとE-QIPランゲージスクールの生徒及びボランティアは無料

<https://www.numa-inst.com/products>

●ランゲージ・エクスチェンジ（仏語－日本語）

ラヴァル大学院生が主催するオンライン・ランゲージ・エクスチェンジが、毎週土曜日朝 8 時（カナダ東部時間）から開催されています。

<https://www.meetup.com/en-AU/canasian-station/>

問い合わせ先：Pascal Paradis 氏（pascal.paradis.2@ulaval.ca）

●国際交流基金トロント日本文化センター

E-library で日本の本、マンガや雑誌などを読むことができます。

<https://jfl.overdrive.com/>

その他、様々なオンライン・イベントが随時開催されています。詳細はこちらからご確認ください。

<https://jftor.org/>

8 当館管轄 5 州の政治

(1) ケベック (QC) 州

・2月2日、教員組合連合 FAE は、州政府との労働協約を僅差で批准。7日、州の教員の 60%が所属する組合 FSE-CSQ も州政府との労働協約を批准。

・2月8日、州政府は、公務員による宗教的シンボル着用禁止等、政教分離に関する州法 21 の適用除外条項をさらに 5 年間延長する法案を議会に提出。適用除外条項は、特定の権利についてカナダ権利自由憲章の適用除外を可能にするもので、5 年毎に更新が必要。州法 21 は 2019 年に採択された。

・2月9日、連邦最高裁判所は、州の先住民コミュニティが独自の児童福祉局を設立することを認める連邦法の合憲性を支持。州政府は、2019 年に成立した同連邦法が州の管轄権を侵害しているとして上告していた。

・2月20日、州政府は、亡命希望者受け入れ費用として 2023 年分 5.76 億加ドルの支払いを連邦政府に要求。2021 年と 2022 年分として既に要求している 4.7 億加ドルと合わせて 10 億加ドルを超える。

・2月22日、農業従事者向けの一時就労プログラムを利用して州に到着し、後に失踪するグアテマラ人労働者がこの 2 年間で急増しているとの報道。州を経由した米国への密入国斡旋が組織化されているとのこと。

・2月22日、ベリル・ガティノー市長が辞職。一部の市議や市民からの個人攻撃、市議会との軋轢等が理由。

・2月24日、マギル、コンコルディアのモンリオールの両英語系大学は、ケベック州外のカナダ人学生および留学生に対する授業料値上げに異議を唱え、州政府を提訴。

・2月29日、州控訴裁判所は、政教分離に関する州法 21 は有効との判断を下し、2021 年に州上級裁判所が決定した一部条項の停止を解除。これにより英語系教育委員会管轄

の学校でも宗教的シンボル着用が禁止される。同教育委員会は、連邦最高裁判所で争う可能性を示唆。

(2) ニューファンドランド・ラブラドール (NL) 州

・2月29日、小規模内閣改造。1月の補欠選挙で勝利し議員となったハットン氏が住宅大臣に任命される。住宅問題を担当していたパイク氏は、引き続き子ども・高齢者・社会発展大臣として留任。

(3) プリンスエドワードアイランド (PEI) 州

・2月7日、Borden-Kinkora 選挙区の州補欠選挙が暴風雪のため2日遅れで実施され、緑の党候補のマクファーレン氏が勝利。自由党と議席数がタイ（各3）となった緑の党が公式野党の座を要求。28日、コンプトン州議会議長は、自由党が公式野党の座を維持するとの決定を下す。

・2月22日、州政府は、新たな人口計画を発表。人口急増にともなう住宅不足や医療サービス圧迫を緩和するため、2024年、州指名プログラム等を通した永住者の受け入れを25%（500人）削減する（同行家族含め実際は1000人と予測）。右プログラム等で受け入れられる残り75%は、医療、建設、保育等、労働力不足が特に深刻な9部門に振り分ける。右措置をとっても州人口は2030年までに20万人を突破する見込み（2023年10月時点は17.5万人）。

・2月29日、ブリッジ州財務大臣は、2024年度州予算を発表。歳出32.3億加ドル、歳入31.5億加ドル、8500万加ドルの赤字。医療と住宅に重点を置いた1.4億加ドルの新規支出を行う。今後2年間の赤字は、1年前の予測より6000万加ドル増。

(4) ノバスコシア (NS) 州

・2月8日、大西洋州で最初となるフランスの教育機関 Lycee international francais des provinces atlantiques (LIFPA) は、建設費用超過のため当初の予定地 NB 州セントジョンの代わりにハリファックスに2024年9月開校することが決定。

・2月13日、サヴェージ・ハリファックス市長は、10月に実施が予定されている市長選に出馬しないと表明。任期満了まで市長を務める。サヴェージ氏は連邦議員を務めた後、2012年にハリファックス市長に初当選し、2016年と2020年に再選した。

・2月22日、州自由党のマグワイア議員が離党し、与党進歩保守党に入党。同日コミュニティサービス大臣に任命される。ブードロー前コミュニティ大臣は健康上の理由で辞任。

・2月29日、マクマスター州財務大臣は、2024年度州予算を発表。歳出165億加ドル、歳入158億加ドル、4.67億加ドルの赤字。高騰する生活費対策として、2025年1月1日以降、個人所得税ブラケット、基礎個人額 (BRA)、特定の非還付型税額控除を州のインフレ率に連動させるため、2028年までに年間1.6億加ドルを支出する。

(5) ニューブランズウィック (NB) 州

・2月2日、ホランド州天然資源・エネルギー開発大臣は、次回総選挙に出馬しない意向を表明。同日、ダン高等教育大臣は辞職を発表。ダン氏の辞職を受けてヒッグス首相は、ダン氏の持っていたポートフォリオをホランド、ターナーの両大臣に任せると発表。総選挙は10月までに実施予定。27日、カー前大臣も次回総選挙に出馬しない意向を表明。カー氏は2023年、公立学校における性的マイノリティ保護のための指針「ポリシー713」変更に対し閣僚落ちしていた。

【各州世論調査結果】

●州政党支持率

- ・QC州（レジェ (Leger Marketing) 調べ、2月2～5日）： ケベック党 (PQ) 32%, 与党ケベック未来連合 (CAQ) 25%, ケベック連帯 (QS) 16%, 自由党 (PLQ) 15%, ケベック保守党 (PCQ) 11%, その他 1%
- ・NL州（ナラティブ・リサーチ (Narrative Research) 調べ（以下同じ）2月7～18日）： 与党自由党 43%, 進歩保守党 (PC) 33%, 新民主党 (NDP) 23%, 緑の党 1%, その他 0%
- ・PEI州（2月8～13日）： 与党 PC 51%, 緑の党 28%, 自由党 12%, NDP 9%, Island Party of PEI 1%, その他 0%
- ・NS州（2月6～17日）： 与党 PC 49%, 自由党 25%, NDP 20%, 緑の党 5%, その他 1%
- ・NB州（2月6～22日）： 自由党 40%, 与党 PC 34%, 緑の党 15%, NDP 8%, ピープルズ・アライアンス (PA) 2%, その他 0%

●連邦政党支持率

- ・QC州（レジェ (Leger Marketing) 調べ、（以下同じ）2月2～5日）： ブロック・ケベコワ (BQ) 29%、与党自由党 28%、保守党 24%、新民主党 (NDP) 14%、緑の党 3%、その他 3%
- ・QC州（レジェ (Leger Marketing) 調べ、（以下同じ）2月23～25日）： ブロック・ケベコワ (BQ) 32%、保守党 29%、与党自由党 21%、新民主党 (NDP) 11%、緑の党 5%、その他 3%

●ケベックの独立

- ・QC州（2月2～5日）賛成 35%, 反対 56%, 分からない 9%

9 当館管轄5州の経済

(1) QC州

・2月5日、州政府は、劣化が進むモントリオールのオリンピックスタジアムの屋根交換工事のため8.7億加ドルを支出すると発表。

・2月7日、ケベック研究所 (Institut du Quebec) によると、州では2023年、失業率は永住者では前年の4.7%から7.5%に急上昇したが、カナダ生まれの州民では3.5%から3.7%とわずかに上昇したのみであった。前年比で労働人口増（10万人）が雇用増（67000

人)を上回った。

・2月11日、豪リチウムユニバース(Lithium Universe)は、年間16000トンのリン酸鉄リチウム電池生産工場建設地としてベカンクールを選定。

・2月14日、ケベック貯蓄投資公庫(CDPQ)は、日本の再生エネルギー企業「自然電力」とともに、愛知県犬山市にある太陽光発電所(発電能力31MW)の80%を取得したと発表。CDPQにとって初の日本での太陽光発電プロジェクト。CDPQは2022年に自然電力に1.86億加ドルを出資し、同社の取締役会に1議席を保有。両社は他の共同投資の機会も模索中。

・2月15日、州政府とペサミット(Haute-Cote-Nord地域)のイヌ評議会は、州の発電能力を増強するための新たなエネルギー開発に向けた交渉を行うことで合意。ペサミットは、同コミュニティに位置する13の水力発電所と16のダムが地元の同意なしに建設されたとして、70年にわたり州政府と対立してきた。今回締結された「歴史的な」協定により州政府は今後6年間、ペサミットの社会開発費として4500万加ドルを支出する。

・2月15日、パナソニックエナジーとゼネラルモーターズ(GM)は、ヌーボー・モンド・グラファイト(NMG, 本社モンリオール)と長期供給契約を締結。パナソニックとGMはそれぞれ、年間18000トンの負極活物質を購入(パナソニックは7年間)する。パナソニックはまた、NMGのSaint-Michel-des-Saintsの黒鉛鉱山とベカンクールの加工工場建設のために2500万米ドルを出資する(GMもNMGに2500万米ドルを出資)。

・2月20日、IT大手のマイクロソフトは、レヴィに2億ドル規模のデータセンター建設許可を取得。

・2月22日、ハイドロケベックの2023年の純利益は、前年比27.8%減となる33億加ドルとなり、州政府への配当も25億加ドルに落ち込む(2022年は過去最高の34億加ドル)。貯水池の低水位、暖冬、アイスストームによる大規模停電が減益の主要因。

・2月22日、CDPQは、2023年の収益率は7.2%とベンチマーク(7.3%)をわずかに下回ったと発表。純資産は4340億加ドル。

・2月26日、モンリオール・インターナショナルは、2023年の外国投資は87件、27.4億加ドル規模となり、前年比23%減となったと発表。世界的な経済減速が影響。

(2) NL 州

・2月26日、鉄鉱石生産企業IOC(ラブラドル、三菱商事が出資)は、重油の使用削減等、脱炭素に向けた取り組みのため、連邦政府より1810万加ドルの財政支援を受ける。

・2月28日、グリーン水素・アンモニア製造プロジェクトを進めるワールドエナジーGH2は、連邦政府より1.28億加ドルの融資を獲得。ニューファンドランド島西岸に328基の風力タービンとアンモニア製造工場を建設する同プロジェクトは現在州の環境審査中で、同社CEOは当初の目標としていた2025年のグリーン水素生産開始は難しいだろうと発言。

(3) PEI 州

・2月9日、シャーロットタウン市と連邦政府は、今後3年間で300戸の住宅を建設するための協定を締結。連邦政府は、市がより密で高さの高い住宅建設を可能にすること等を条件に、3年間で1000万加ドルを支出する。

(4) NS 州

・2 月 15 日、州内 13 のミグマコミュニティが共同で所有する企業 Wskijinu'k Mtmo'taunuow Agency (WMA) と NS パワーは、大西洋州最大となるエネルギー貯蔵プロジェクトに共同投資する。カナダインフラ銀行が 1800 万加ドル融資し、電力をオフピーク時は貯蔵し、必要な時に送電網に戻す施設を州内 2 ヶ所に建設する。2025 年稼働開始予定。

(5) NB 州

・2 月 26 日、アーヴィングオイル（本社セントジョン）のウィトコム社長が辞任を発表。同社は現在、会社の売却を含む企業戦略の見直し中。昨秋、オーナーであったアーヴィング氏と幹部の娘も辞任している。

[在モントリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから、当館に在留届を提出されている方と、当館メールマガジン読者登録をされている方に向けて送信されています。本メールあてに直接返信なさらないようお願いいたします。本メールマガジンに関するご意見・ご要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。

emagazine@mt.mofa.go.jp

なお、当メールマガジン配信システムでは、技術上フランス語表記のアクセント記号をつけることができないことから、当館の HP においてアクセント記号付きのものを公開しております。

○メールマガジン読者登録をされている方で、配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、emagazine@mt.mofa.go.jp までご連絡ください。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モントリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらをご利用ください。

○メールマガジンのバックナンバーは、以下の URL をクリックすると閲覧いただけます。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（www.kantei.go.jp）

外務省ホームページ（www.mofa.go.jp/mofaj/）

在カナダ日本国大使館ホームページ（www.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館ホームページ（https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館 Facebook（www.facebook.com/JapanConsMontreal）

当館 Twitter : @JaponMontreal <https://twitter.com/JaponMontreal>

○発行：在モントリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333, Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当
(emagazine@mt.mofa.go.jp) までご相談ください。

■-----■